

Ⅱ 学校運営の基本方針

- ◎ 教育目標である「高い知性・豊かな心・健やかな体」の具現化を目指し、全職員が温かい人間性のもと、生徒の良さを認め、伸張させようとする姿勢をもち、一致協力体制で全ての教育活動にあたる。
- ◎ 幼小中の縦の連携と学校・家庭・地域の横の連携を図り、「田上の12か年教育」の実現を目指す。
- ◎ 生徒が「田上中の私たちを見てください」（自己有用感）と胸を張って言える学校を目指す。
- ◎ 保護者や地域の願いをしっかりと受け止め、信頼される学校づくりに全力をあげて取り組む。
- ◎ 学習指導要領の趣旨を生かした教育活動の実現に向けて、現田上中学校の教育と特色を土台にして着実な実践を進める。

今年度特に力を入れる取組

- 1 自己有用感のある生徒
 - ・ すべきことはきちんとさせて、さらに進んで取り組ませ、（生徒同士や教師や保護者が）認め励まし、自己有用感を高める。
- 2 目標の実現に努める生徒
 - ・ 目標（夢）をもち、実現に向かって、粘り強く努力する生徒を育てる。
- 3 部活動で伸ばし育てる
 - ・ 部活動をとおして、人間的に成長する生徒を育てる。
- 4 学校の活力を各自の力に
 - ・ 各自のがんばりが学校全体の活力を高め、学校全体の活力が各自の力へと還元することを目指す。

1 生徒一人一人の「良さ」を認め伸ばすための指導・支援をする。

- ① 生徒一人一人の個性やもち味を十分に引き出し、それを育てる学級・学年経営及び教科指導を推進する。
- ② 授業はもちろん、諸行事、生徒会活動、部活動等様々な場面で生徒一人一人が真に生かされる機会と場を設定し、生徒が成就感、満足感を味わうことができるように支援していく。
- ③ 共に学ぶ仲間を互いに認め合い、好ましい人間関係の構築をとおして生徒一人一人が所属感、満足感を味わうことができるように支援していく。
- ④ 生き方指導としての道徳教育、生徒指導、キャリア教育を充実させる。
- ⑤ 人権意識の向上を図り、いじめを許さない安心できる公正で公平な学級・学校づくりに学校全体・一丸となって取り組む。

2 教育目標の実現に向け、【確かな学力】と【豊かな心の育成】【健やかな体づくり】の達成を目指す。

(1) 学力の向上のために

- ① 学ぶ喜び・分かる喜びが実感できる授業づくり
 - ・ 客観的なデータに基づく学習状況の把握と指導の一体化を進める。
 - ・ 全教師足並みをそろえ「学び合いながら、考えを深める学習」の推進に努める。
 - ・ 「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業改善のための研修を計画的に行う。（全員の公開授業、研究会・研修会への積極的な参加）
 - ・ 小・中学校の連携を深め、中1ギャップの解消を図る。
- ② 学びの基礎づくりの徹底
 - ・ 「つなぐ時間」を継続実施し、家庭学習の習慣化を図る。また、家庭と連携しながら、生徒の生活時間帯の見直しを進める。
- ③ 確かな学力の定着と補充的・発展的な学習の推進
 - ・ 全校体制によるWeb配信テストへの積極的な参加とそれに向けた授業改善に努める。
 - ・ 放課後学習や長期休業中の補習などの補充的な学習機会を計画的・継続的に設定する。

④総合的な学習の時間の着実な推進

- ・田上への愛着を深めるため、地域をテーマとした探究的な学習を計画的に実践するとともに、実践結果の蓄積を進める。

(2)豊かな心の育成のために

①道徳、人権教育、同和教育、学級活動の充実をととした人間関係力を高める取組の推進

- ・教師の構えを明確にし、計画に沿った確実な授業実践・活動の積み重ねを図る。
- ・学級活動では、人間関係力を育てる手法の積極的な活用をととしてその育成に努める。
- ・人権感覚や規範意識の向上に向けた取組を計画的に進める。

②認め、励ますを基本とした教師の構えのもと、学級や部活動等において人間関係を円滑にし、安心感・所属感がある居心地の良い親和的な集団づくりの推進

- ・学校生活アンケートやいじめアンケートを実施し、生徒の実態把握と問題の改善に努める。
(いじめ見逃しゼロスクール集会の実施、不登校生徒の改善・減少及び新たな不登校生徒を生まない環境づくりを目指す)

③生徒を前面に出した教育活動の推進

- ・係や当番活動、個人の役割と責任の明確化を図り、所属意識の向上と自立的な集団への向上を図る。(教師の支援・指導を基盤にした自主的な生徒会・学級活動等)
- ・明るいあいさつを通して、コミュニケーション能力の育成に努める。

(3)健やかな体づくりのために

①健康を維持する食や適切な生活習慣の育成の推進

- ・食や生活習慣の実態調査を継続し、実態把握と共に経年変化を捉え、課題と対応策を検討する。
- ・適切な生活習慣の形成のために必要な知識・理解と実践方法の習得を図る。
- ・「たけのこ週間」や「アウトメディアウィーク」をととして、保護者との連携協力を進めながら、メディア時間を意識したよりよい生活習慣の確立に努める。

②体力テストの結果をもとに分析を行い、保健体育の授業と部活動とが連携しながら体力の向上を目指す。

- ・1校1取組の充実による体力向上を図る。

3 家庭・地域との連携を深め、共に育てる学校づくりに努める。

① 生徒、家庭、地域の視点に立った誠意・誠実な対応に心がけ、いつでも何でも、気軽に相談ができる関係づくりに努める。

② 各種たよりをはじめ、保護者会や地区懇談会などさまざまな機会をとらえ、家庭教育の重要性を訴え、また生徒の活動の様子を積極的に発信していく。

③ 学校運営協議会(学校評議員会)を定期的実施し、学校教育の説明責任を果たし、また評価結果と改善策を公表して、保護者・地域との連携を深めていく。

④ 田上コミュニティ・スクールを基調とし、学校・家庭・地域の相互理解を深めながら、信頼関係の構築に努める。そして、学習活動や学校行事等において、地域とつながる教育活動を地域とともに積極的に進めていく。

⑤ 幼稚園、二小学校、一中学校という地域のよさを生かし、共通理解のもとに、連携をさらに深めた教育活動を推進し、「田上の12か年教育」の実現を目指す。

4 信頼と品格を備えた教職員を心がける。

① 互いに切磋琢磨し、人間性と専門性を備えた質の高い教師を目指そう。

② 厳しさと温かさを兼ね備えた柔軟性のある教師を目指そう。

③ 率先垂範・師弟同行の教師を目指そう。

④ 教育公務員としての自覚と誇りを常にもち、サービス・規律の遵守はもとより、厳正な勤務を行おう。

⑤ 教師である前に社会人である。社会人としてのマナー、服装、言葉遣いに心がけよう。

⑥ 一人一人が、積極的に経営参画して学校づくりを行う教職員集団を目指そう。